一般の部　入賞

娘は、早生まれで食も細く、幼稚園入園時も小柄でした。体も弱く、幼稚園も休みがちでした。

送迎バスの運転手さんが「今日もあの小さい子は、休みかね？」と心配してくれていました。

たまの登園日、娘は「よいしょ」の掛け声とともにバスのステップを登ります。

すると運転手さんは、「よく来たね」と笑顔で労ってくれます。そんな日々が続き、徐々に娘も幼稚園生活に慣れ、卒園前日になりました。

娘が「運転手さんにお花をあげたい」と言います。娘の幼心にも運転手さんの優しい気遣いが嬉しかったのでしょう。妻と娘で、花を買い求め、卒園当日のバスに乗る時、娘が「いつも乗せてくれてありがとうございます」と花を渡しました。運転手さんは、思わぬ贈り物に驚いていました。

一か月後、娘と近くのスーパーで買い物をしていると初老の男性が「お嬢ちゃん」と娘を呼び止めます。その男性こそが、あの運転手さんでした。その笑顔が素敵でした。

愛知県春日井市
内田（うちだ） 行紀（ゆきのり）さん